



ラート情報誌「わっ！」

第39号 2014年6月

ラート協会オフィシャルホームページ <http://www.rhoenrad.jp> e-mail office@rhoenrad.jp

第7回世界チームカップ



4月26日ドイツ(ベルリン)にて『第7回世界ラートチームカップ』が開催されました。

各国4名の選手が計6演技を行い得点を競いました。1ラウンド(各国1演技)ごとに得点の高い国から順に4~1ポイントを獲得し、その総合ポイントで順位が決定するという方式でした。

接戦を制し、みごと優勝したのは日本！他の3カ国は同着2位でした。団体戦でドイツ以外の国が優勝したのは史上初です。各国のラート関係者から数々の賞賛を受けています。選手団の皆さん、おめでとうございます！

【結果】

金	日本	21ポイント
銀	オランダ スイス ドイツ	18ポイント

選手(種目)	得点
高橋 靖彦 (斜転)	8.90
松浦 佑希 (直転)	8.60
高橋 靖彦 (跳躍)	10.50
堀口 文 (直転)	11.05
森 大輔 (斜転)	10.20
高橋 靖彦 (直転)	11.50



結果詳細:

<http://rhoenrad.com/portfolio/team-world-cup-2014/>

日本選手団の感想を紹介します。

富士電機㈱ 森 大輔 (斜転・チームリーダー)



日本からのたくさんの応援、本当にありがとうございました。私はチームリーダーを努めました。振り返ってみると後輩達に支えられ、彼等から力をもらい、本大会をやり抜くことができました。私にとって挑戦的な演技で臨みましたが、無事にチームの勝利に貢献でき、大変嬉しく思います。表彰台の上で私は、16年前にラートを教えてくださった先生方や先輩方、これまで一緒に大会を戦ってきた仲間達の顔を思い出しました。この方達がいたからこそ今の私があるのだと思い、大きな喜びと感謝、そして充実感を感じました。このような機会を与えてくださり、支えてくださった皆様から御礼申し上げます。



カイエンタープライズ株式会社 高橋 靖彦 (直転・斜転・跳躍)



「想いを載せて」

今大会の会場となったTempdromは素晴らしく、観客は満員の2000人近く集まりました。各国の選手が良い演技を披露し演出も華やかで、全体的に大いに盛り上がった大会だったと感じています。

私は最終演技の直転を控え、自分が4ポイントを獲得すれば優勝できることを知りました。そのためにはドイツのLaura選手を上回る必要がありました。強敵の彼女が相手ということで、自分だけではなく、ラート関係者を始め、応援して下さる方の想い全てを載せて演技しよう心に決めました。細かいミスはありましたが、皆さんの応援のお陰で逆転することができ、本当に感謝しております。

大会前後のエリートキャンプやレセプションでは、各国の関係者や選手と様々な意見交換をできました。ライバルであるにも関わらずアドバイスをくれる選手やトレーナー、大会運営に奔走する方々。皆ラートが好きで、自身の国を始め世界的に広めたいという志には心を打たれました。私も世界の「輪」の一員として、今後も活動します。



🏆 筑波大学体操部 堀口 文 (直転) 🏆



今回の World Team Cup は、最終ラウンドまでどの国にも優勝の可能性があるという、今までにない程の接戦でした。日本チームはその接戦を制し、優勝することができました！皆様の応援がなければ、なし得なかったことと思っております。今大会への出場に際しまして、たくさんの心温まるご声援、ご支援を賜りまして誠にありがとうございました。演技している最中はとても楽しく、優勝という大きなご褒美までいただき、私にとってとても思い出深い試合になりました。

また大変個人的ではありますが、World Team Cup 終了後そのままドイツに残り、現在ドイツ語とラートを学んでおります。少しでも多く日本のラート界に還元できる物を持ち帰れるように、精一杯頑張りたいと思います。



🏆 筑波大学体操部 松浦 佑希 (直転) 🏆



選手として世界大会に参加するのは今回で 2 回目でした。自分が選手としてチームカップに参加できるとは考えてもいなかったもので、現地で演技をする直前どころか終わってから本当に実感がわきませんでした。このような機会を与えて下さり本当にありがとうございました。日本チームの 3 人の選手を始めとし、大会に参加していた海外の選手から、多くのことを学ばせて頂いた大会となりました。個人的には多くの課題が残りましたが、この経験、学んだことを活かして、次の大会に向けて頑張っていきたいと思っております。

また、コーチとして同伴して下さった方、現地でサポートしてくださった方、日本から支援・応援をしてくださった方、本当に多くの方々に支えられ、大会を無事に終えることができました。サポートなしにはあの場で演技ができなかったと思います。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



🏆 筑波大学 本谷 聡 (監督・国際審判員) 🏆



昨年の世界選手権での個人戦金メダルに続き、本大会では団体戦で優勝することができました。このような歴史的快挙達成時に現場にいたことができたことを大変嬉しく思っています。現地、ベルリンでは、海外のたくさんの友人から「日本チームは素晴らしかったよ」と声をかけられました。それと同時に歴代の代表選手をはじめ、ラートに関わったすべての皆さんにおめでとうともいわれました。私自身もその通りだと感じています。

ラートが日本に普及され、四半世紀が過ぎ去ろうとしております。多くの関係者のサポートで日本ラート界もここまでこられました。改めてみなさんに感謝し、そして、これらの快挙を祝おうと思います。ありがとうございました。

🏆 筑波大学 OB 吉永 直嗣 (コーチ) 🏆



Congratulations... 最終ラウンドが終わり、隣にいたドイツチームが祝福の言葉をかけてくれました。ただ、私はこの時何が起きているのか把握できていませんでした。大会中は選手のサポートに没頭し、ポイントを全く数えていなかったのです。まもなく表彰式が始まり、表彰台の一番上にいる日本の選手を眺め、君が代を歌いながら、本当に日本が優勝したんだと実感しました。私はコーチとしてこの歴史的瞬間に立ち会えたことを本当に嬉しく思います。今後もできる限りこのラート界に関わっていければ幸いです。

最後になりますが、今大会において多大なるご支援をいただきました皆様に心より御礼申し上げます。

🏆 東海大学 OB 宗 遼平 (コーチ) 🏆



前回のシカゴ大会に引き続き、今大会もコーチとして同行させていただきました。ずっと見たかった日本の世界一という栄誉の場に居合わせることができたことを大変うれしく思います。選手、コーチ、サポーター一人ひとりが目標を持って大会に挑み、ラート界の先輩方の積み重ね、そして多くのご支援ご声援があつてこの結果を出すことができました。1st place の文字が刻まれたトロフィーを選手たちが天に掲げる光景が、今でも目に焼き付いています。帰国後も、私に関わる多くの方々に祝福の言葉を頂きました。これを機に、まだラートを知らない人たちにも知っていただき、ラートの「輪」が広がっていくように努力してまいります。

最後になりましたが、選手、コーチ、サポーター、仲間たち、そしてご声援を下された多くの皆様と、共にここまで歩めたことを深く感謝いたします。ありがとうございました。

🏆 筑波大学体操部 小出 奈美 (サポーター) 🏆



サポーターとして同行させていただきました小出奈実です。

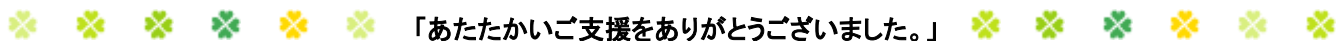
初めて世界レベルの大会を見て、海外選手の技術力の高さに驚きました。中でも、日本選手の演技は輝いており観客の心をしっかりと掴んでいました。各国がベストの演技をするなか、日本チームが優勝カップを手にする事ができ本当に嬉しく思います。今回の大会を通して、各国にラート仲間をつくることができ、仲間の演技から多くの刺激を受け、とても充実したものにできました。このような貴重な機会に立ち会わせて頂いた事に感謝致します。日本チームの皆様、日本で支援、応援してくださった皆様へ御礼申し上げます。ありがとうございました。



☆ 選手団の様子はこちらのサイトでご覧いただけます。

2014 年ラート日本代表選手団 facebook ページ: <https://www.facebook.com/2014RadJPN>

写真提供 Bart Treuren さん: <http://www.rhonrad.eu/20140426/index.html>



「あたたかいご支援をありがとうございました。」

この度、第7回世界ラートチームカップ大会日本代表選手団のために、あたたかい応援金を賜りましてありがとうございました。ここに礼申し上げます。

～ ご支援いただいた方 ～ (五十音順)

安西映子 様, 大塚隆 様, 加藤和子 様, 金井彩陽子 様, 田村千佳子 様, 豊福誠 様,
西井陽平 様, 長谷川聖修 様, 檜皮貴子 様, 松本陽一 様, 森口茂樹 様



チームビルディングセミナー(3月8日)



メンタルコーチ小田桐翔大さんにご協力いただき、団結力 up!!!

試演会・壮行会 東京藝術大学にて(3月22日)



沢山の方が応援に駆けつけてくださいました。

現地サポーターの皆さんと



代表選手の心強い応援団。ありがとうございました。



ラートの輪



吉川泰昭 さん

この夏、サーカス・エンタテインメント“EMPIRE”が日本初上陸します。この公演には、琉球大学体操部出身のラートパフォーマー吉川泰昭さんが出演します。2012年ニューヨーク タイムズ・スクエアで初演されたこのショーは大ヒット、その後オーストラリアツアーを経て、ついに東京公演が決定しました。

直径3mに満たない円形ステージで、吉川さんは大小様々な輪っかを自由自在に操ります。最前列からわずか1mにあるステージ上で繰り広げられるパフォーマンスは迫力満点、間違いなし!

この夏は、東京・品川プリンスホテルへ“EMPIRE”そして吉川さんを観に足を運んでみてはいかがでしょうか?

[詳細] ダークシルク最新作「EMPIRE」日本公演 オフィシャルサイト: <http://darkcirque.com/empire/>
吉川泰昭さんのブログ: <http://ameblo.jp/wheelmaster/>

« 吉川さんから皆さんへメッセージ »

世界ラートチームカップ優勝おめでとうございます。ラートの歴史に新たな1ページが刻まれました。これからのラート界が益々発展することを願っています。私の役割は、その発展のために世界でラートのパフォーマンスをすることだと思っています。

今回のショーでは、世界から集まった凄腕パフォーマーの中で、日本人ラートパフォーマーとして出演しております。皆さんに楽しんで頂けるよう日々精進出来るよう回り続けたいと思いますので、これからも宜しくお願いします。



【競技歴】

- 1999年にラートに出会う。同年より全日本選手権大会出場し、2006年までの7大会で6個の金メダルを含む15個のメダルを獲得。
- 2001, 03年 世界選手権大会にラート選手として出場。個人・団体で3つの銅メダルを獲得。
- 2004年 世界チームカップ出場。
- 2011年 USA National Open Championship モノ・ラート部門優勝。
- 2013年 モノ・ラート部門が初めて開設された記念すべき世界選手権大会にモノ・ラート選手として出場。

【パフォーマー歴】

日本の『マッスルミュージカル』で7年活躍後、ラスベガスやニューヨークなど、アメリカ全土でショーに出演。日本とアメリカで2000回以上の公演に出演。また、“FOX Animal Planet”, “The Jerry Lewis Telethon”など、海外のテレビ番組にも多数出演している。



【お知らせ】

◎国際規則の技の申請について

国際規則の難度表に掲載のない技で、国際大会でB以上の難度を希望する技がある場合、国際ラート連盟技術部会に提出する必要があります。申請したい技のある選手は、下記連絡先までお知らせください。
 なお、2015年の世界選手権大会のための申請締め切りは2014年9月末とします。

連絡先: 日本ラート協会国際部会委員 但馬 絵美子 [rhoenrad_wa\(at\)yahoo.co.jp](mailto:rhoenrad_wa(at)yahoo.co.jp)
 3日以内にお返事いたします。返信のない場合は日本ラート協会事務局までご連絡ください。

※ なお、申請には動画が必要です。動画は過去の大会で成功している技のみ受理されます。

【事務局便り】

◎「第7回世界チームカップ」の映像(DVD)販売のお知らせ

1式 3,150円+送料

《お問い合わせ先: 日本ラート協会》
 〒187-0023 東京都小平市上水新町 2-27-30
 電話: 042-349-2024 FAX: 042-349-2524 e-mail: office@rhoenrad.jp

◎ 今年度の主な行事

- | | | |
|----------------------|----------------------|-----------------|
| ・ 第10回全日本学生ラート選手権大会※ | 日程: 8月23日(土)~24日(日) | 場所: つくば市桜総合体育館 |
| ・ 夏季ラート実技講習会 (学生向け) | 日程: 8月25日(月)~26日(火) | 場所: つくば市桜総合体育館 |
| ・ 夏季ラート実技講習会 (一般向け) | 日程: 9月6日(土)~7日(日) | 場所: 手賀の丘少年自然の家 |
| ・ 第20回全日本ラート競技選手権大会 | 日程: 12月13日(土)~14日(日) | 場所: つくば市カピオアリーナ |
| ・ 春季ラート実技講習会(一般向け) | 日程: 3月7日(土)~8日(日) | 場所: 手賀の丘少年自然の家 |

※ 全日本学生ラート選手権大会は、全日本学生ラート競技選手権大会実行委員会主催の大会です。

全日本学生ラート選手権大会詳細はコチラ→<http://rhoenrad.blog.shinobi.jp/>



【編集後記】

チームカップ優勝！この素晴らしい瞬間を、私はインターネットのライブ中継で観ていました。ラートの国際イベントを日本にいなながらリアルタイムで観戦できる日がくるなんて嬉しいですね♪ 次回はぜひ会場に足を運びたいものです！

2015年、世界選手権の会場はどこになるのでしょうか？楽しみです。

ラート協会広報部会委員 但馬 絵美子

